自立と社会参加に向けた特別支援教育

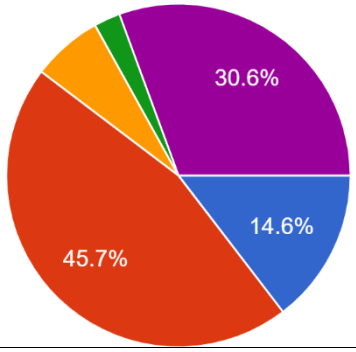
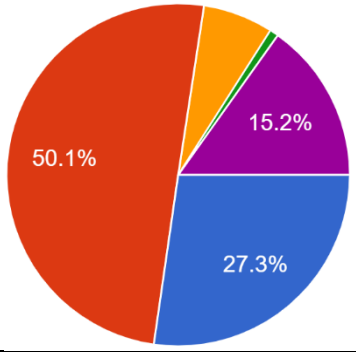
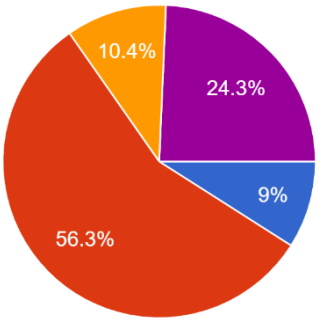
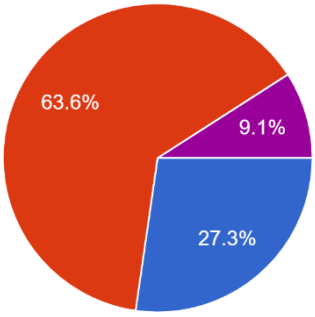
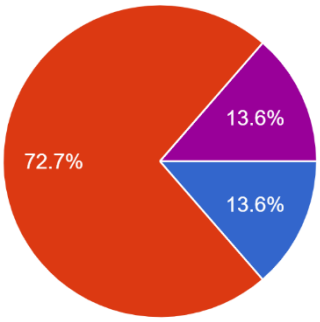
〇全教職員による支援の充実

 すべての生徒に分かりやすい、ユニバーサルデザインを意識した授業を実施。	 生徒への効果的な支援方法を全教職員で検討し、実践。	 特別支援学校の教員から、生徒の支援方法について、専門的な助言を受けた。
ユニバーサルデザインを意識した授業の実施	**校内支援委員会の開催による配慮を要する生徒の実態や指導法についての情報共有**	**特別支援学校による巡回相談の実施**

〇交流学習の実施

		美術や音楽、保健体育、技術家庭科などの教科では、特別支援学級の生徒も、同学年の生徒といっしょに学習。 特別支援学校の生徒も、本校の授業に参加した。
特別支援学級在籍生徒の交流		

自立と社会参加に向けた特別支援教育

調査対象	調査結果	
生徒 ３６３名	伊奈中学校は、あなたの実態に合わせた指導をしている。	生徒の相互理解が深まった。
		
保護者 １４４名	学校は、お子さんの実態に合わせた指導をしている。	
		
教職員 ２２名	伊奈中学校では、生徒の実態に合わせた指導をしている。	生徒同士の相互理解が深まった。
		

数値目標

［教員］

・生徒の相互理解が深まった　　８０％

・生徒の実態に応じた授業をしている　　８０％

実態

［教員］

・生徒の相互理解が深まった　　**９０．９％**　［１学期比　**＋９．１％**］　**達成！**

・生徒の実態に応じた授業をしている　　**８６．３％**　［１学期比－１３．７％］　**達成！**

今後の対応

・保護者には、学校だよりや学年だよりを通して、様々な取組について知らせる機会を設けます。

・学校、学年、学級の実態に合わせて、引き続き個に応じた支援を積み重ねていきます。